

【立体横断施設技術基準・同解説】

【A5判 98頁 本体価格 1,900円】

昭和54年1月20日初版第1刷発行

令和6年1月31日 第23刷発行

I 設置基準編	
1. 総 則	3
1-1 目 的	3
1-2 立体横断施設の定義	4
1-3 立体横断施設の種類	4
2. 設置基準	5
2-1 車道を横断する立体横断施設の設置基準	5
2-1-1 単路または信号機のない交差点に設置する立体横断施設	5
2-1-2 信号交差点に設置する立体横断施設	13
2-1-3 その他立体横断施設を設置する場合	14
2-2 鉄道を横断する立体横断施設の設置基準	14
3. 設置要件	16
3-1 既存の路上横断施設との関連	16
3-2 形式の選定	16
3-3 横断者交通の処理	19
3-4 道路交通の安全に対する配慮	20
II 横断歩道橋編	
1. 適用範囲	23
2. 設計一般	25
2-1 建築限界	25
2-2 幅 員	25
2-3 形 式	28
2-4 けた下高さ	29
2-5 橋 脚	29
2-6 基 礎	30
2-7 昇降方式	30
2-8 階 段	31
2-9 踊り場	32
2-10 手すり等	33
2-11 照 明	34
2-12 たわみ	34
2-13 振 動	35
2-14 色 彩	38
2-15 占用物件	38
3. 荷 重	38
3-1 荷重の種類	38
3-2 荷重の組合せ	39
3-3 死 荷 重	40
3-4 活 荷 重	41
3-5 高欄に作用する水平力	41
3-6 風 荷 重	42
3-7 温度変化の影響	43
3-8 地震の影響	43
3-9 雪 荷 重	50
3-10 支点移動の影響	50
3-11 衝突荷重	51
3-12 可動支承の摩擦係数	52
4. 許容応力度および許容支持力	52
4-1 鋼材およびコンクリートの許容応力度	52
4-2 基礎の許容支持力	53
4-3 直接基礎の転倒および滑動に対する安定	55
5. 構造細目	56

5-1 床 版	56
5-2 階段の踏み面およびけあげ面	56
5-3 路 面	57
5-4 地 覆	58
5-5 高 欄	58
5-6 鋼材の最小厚	59
5-7 部材の細長比	60
5-8 部材の連結	61
5-9 横 構	61
5-10 対 傾 構	62
5-11 アンカーボルト	63
5-12 安全 施設	63
5-13 目かくし板等	64
6. 維持修繕	64
6-1 維持 修繕	64
6-2 橋 歴 板	66
Ⅲ地下横断歩道編	
1. 適用範囲	69
2. 設計一般	70
2-1 建築限界	70
2-2 幅 員	71
2-3 標準内空断面	72
2-4 土かぶり	73
2-5 基礎の種類および形状	73
2-6 昇降方式	74
2-7 階 段	74
2-8 踊り場	74
2-9 手すり等	74
2-10 照 明	75
2-11 防犯施設	76
2-12 案内板	76
3. 荷 重	77
3-1 荷重の種類および組合せ	77
3-2 死 荷 重	77
3-3 活 荷 重	78
3-4 土圧・水圧	79
3-5 活荷重の載荷方法	81
3-6 底面の地盤反力	83
4. 許容応力度および許容支持力	84
4-1 一 般	84
4-2 鉄 筋	84
4-3 コンクリート	85
4-4 基 礎	86
5. 構造細目	87
5-1 最小部材厚	87
5-2 階段の踏み面およびけあげ面	88
5-3 路 面	88
5-4 防 水 工	89
5-5 排 水	91
5-6 ハ ン チ	92
5-7 伸縮継目	93
5-8 内 装	93
5-9 照明設備	94
5-10 出 入 口	94
6. 施 工	95
7. 維持修繕	97
8. 防 犯	98